

* 5月1日は電子情報通信学会の創立記念日です。改めて本会並びに本誌を支えて頂く皆様に御礼申し上げます。

* 今月は電磁界シミュレーション技術のこれまでの進化と今後の展望について小特集をお届けしましたがいかがでしたでしょうか。私が身を置く通信分野でもシミュレーションは、無線・光伝送路、システム、プロトコル、ネットワークの性能や障害耐性の設計など、少し複雑な系の挙動やリスクを把握するには必須といってよい技術です。自然・社会現象の分析、金融、教育など様々な分野や業界で幅広く用いられる技術ですので、是非分野を超えた連携により、新たな知見や技術を持続的に開拓し、社会や産業の新たなドライブフォースを創出していくことを期待しています。

* 冒頭にこれまでの進化と今後の展望と書きましたが、これは本誌の今年の共通テーマとします。1月号の

分野横断的な小特集を皮切りに、来月から分野ごとの100周年記念特集企画も始まりますので、是非御期待下さい。周囲の皆様からの電子情報通信技術への期待、先輩方のたゆまぬ努力や先見性、人々の活動や社会・産業の持続的発展を支えるライフラインとしての崇高な到達目標。個々の技術課題の広がりや深み、それに向けた研究者・技術者皆様の気合や意気込みを実感頂き、今後の皆様の研究開発の一助として頂ければ、会誌編集委員会としてはこの上ない喜びです。

* さて、来月の定時社員総会をもって通信分野の幹事を退任します。御指導御協力頂きました編集委員会やニュース委員会の皆様、快くお引き受け頂いた執筆者の皆様、欠かさずお読み頂き有益な御意見を頂いた読者の皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。特に100周年の節目にあたり、分野や専門委員会等の垣根を越えて記念企画を創出する機会を頂いたことは、関係する皆様を必要以上に振り回してしまった個人的な反省はありつつも、掛け替えのない財産となりました。ありがとうございました。

* ではまたいつの日か。

(編集特別幹事 植松芳彦)

平成 29 年 6 月号 創立 100 周年記念特集

『基礎・境界』が支えた 100 年、これからの 100 年」 予定目次

創立 100 周年記念特集編集にあたって.....	編集チームリーダー 藤芳明生
1. 「基礎・境界」が成し遂げたこと、今後に期待できること	
1-1 基礎・境界の研究分野と基礎研究の実用化.....	植松友彦
1-2 非線形問題の理解を越えて——新しい分野への展開——.....	引原隆士
1-3 システムと信号処理の過去・現在・未来——信号処理技術の変遷を通じて——.....	梶川嘉延
1-4 音響・超音波研究が開いた今日の生活と今後の展望.....	水町光徳
1-5 符号理論のストレージ技術への応用とその将来.....	鎌部 浩
2. 未来 100 年を担うあなたへ贈る言葉	
2-1 基礎研究を続ける大切さ.....	仙石正和
2-2 「検索」から「出会い」へ.....	渡辺好章
2-3 進化し続ける科学と人間の未来について.....	岡本栄司
2-4 論理を組み立てる研究.....	中村祐一
2-5 エレクトロニクス技術と車社会の変革.....	高橋常夫
2-6 人の主観画質を定量化する研究の難しさと楽しさ.....	半谷精一郎
3. 未来 100 年を進む私が目指すもの	
3-1 22 世紀の情報理論.....	渡辺 峻
3-2 未来の音の収録・再生・編集技術の実現に向けて.....	小山翔一
3-3 数理的アプローチの未来への展望.....	山口真悟
3-4 遠い未来の自然言語処理.....	乾 孝司
3-5 非線形解析技術の発展がもたらす未来.....	松下春奈
3-6 ユーザ行動を考慮したネットワーク制御方式とは？.....	宮田純子
3-7 自然計算から拡張生命へ.....	青野真士
3-8 圧縮センシングで模索する 100 年後の地球と宇宙の平和.....	白木善史